



Annual Report

活動レポート2020.4-2021.3



Vision

YMCAが実現したい世の中の姿

互いを認め合い、高め合う
「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

YMCA will work towards building communities in which people will respect and enhance one another to bring out their best. Rich and inspiring communities connected by people's "Positive Net".

Positive Net

互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、
善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。

Value

YMCAがステークホルダーに提供を約束する価値

したい何かがみつき、誰かとつながる。
私ができる、かけがえのない場所。

The YMCA is a very special space where you can encounter something,
connect with someone and transform yourself.

みつかる つながる よくなる
Encounter Connect Transform

総主事メッセージ

Message from General Secretary of The Kumamoto YMCA



熊本YMCA総主事 神保 勝己

Katsumi JINBO
General Secretary, KUMAMOTO YMCA

次の時代を担う人材育成と 新たなチャレンジを

2021年4月、第14代熊本YMCA総主事を拝命いたしました。共にいてくださる神様のみ旨に沿いながら祈りを持って、また、地域の方々や会員の方々にお力添えいただきながら、働きを行って参りたいと思います。

熊本におけるYMCA活動は、1948年、机一つでスタートしました。多くの方々のご尽力により、古城町の紫苑会館跡に移転、1965年には新町の中央センターが与えられ、地域と共に歩んできました。熊本YMCAは、73年の歴史の中で様々な困難を乗り越えてきました。

現在、熊本YMCAは厳しい財政状況に加えコロナ禍という課題を抱えています。このような時にこそ原点に戻り、私たちが「大切にすべきもの」「変えられないもの、変えるべきもの」を見極め、「心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛する」ことを意識していくことが大切だと思います。

2021年度の年間基本聖句を、「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。」(コリントの信徒への手紙二 4章18節)としました。今こそこの見えないものを意識して、YMCAに集う子どもたちや青少年一人ひとりとの関わりを通し、ものごとの本質に目を向けて、それを大切に作る心を育み養いたいと願っています。

2021年5月、新会館が与えられました。新型コロナウイルスとの共存や高齢社会、防災、減災、SDGsなどの諸課題に向き合うとともに、様々な世代の方が集い、笑顔あふれるYMCAになるよう、チャレンジし、改革を進めていきます。



2021年度 熊本YMCA運営方針

Policy for 2021



コリントの信徒への手紙 二 4章18節

II Corinthians 4:18

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。

So we fix our eyes not on what is seen, but on what is unseen

I ブランディングを推進し、YMCAのミッションを明確にします。

1. 事業・運動の理念、キリスト教精神の実践等ブランド力の表出を具現化します。
2. こども、ユース、国際性を基軸に事業・運動の展開を行います。
3. SDGsに関する働き、ボランティア体験等を通して会員の成長の場を創造します。

II 広報戦略を策定し、情報発信を活発に行い、YMCAのミッションを伝えます。

1. YMCA内外に向けた情報発信を見直し、活動の見える化、ファンドレイジングの強化を行います。
2. 防災・減災の取り組みや啓発に関する発信を行い、災害に強いコミュニティづくりに寄与します。
3. 子育て子育て分野での情報発信を強化し、伴走型のプログラムの充実を図ります。

III リーダーシップ研修の充実を図り、教育の質の向上を図ります。

1. 組織内のコミュニケーションを活発に行い、情報のシェア、業務の効率化を図ります。
2. 全国YMCAや諸団体との情報共有を通じて、YMCA内外での研修、人材育成を行います。
3. 個々のパーソナリティーを磨き、社会に貢献するより良き人としての集団をつくります。

IV YMCAマネジメントを強化し、確立します。

1. コンプライアンスを徹底し、行政、所轄庁との信頼関係を引き続き強化していきます。
2. ガバナンスを見直し、各法人の基盤の強化を図り、他YMCAとの連携を進めます。
3. 事業3カ年計画を策定し、法人間協働を強化して、人事・事業形態等運営の改革に取り組みます。

V ポジティブネット実現の姿を示し、ユースエンパワーメントを推進します。

1. ユースを中心に、社会の課題を抽出し、地域共生社会実現を目指します。
2. 各事業において、ユースの意思を活かし、運動体としての柔軟なYMCAを目指します。
3. ワイズメンズクラブや諸団体と連携し、ユースを中心に課題解決に取り組みます。

事業報告 Business Report

公益財団法人

ウェルネス事業

Wellness - Health Education

熊本YMCAは1967年に九州で初めて民間団体としてサッカー教室を開講。以降、地域の人たちからも支えられながら活動を続けたフットボールクラブが、「令和2年度熊本県生涯スポーツ優良団体賞」を受賞しました。

また、11月8日（日）に開催された第46回熊日学童オリンピック体操競技で熊本YMCA体操チーム男子が6年ぶりの団体優勝、個人総合優勝を果たし、女子も団体2位の好成績を収めました。



野外事業・野外活動

Outdoor Education

子どもたちが年間を通して活動している野外活動クラブ。コロナ禍の2020年度は、11月からのスタートとなりました。2021年3月には1泊キャンプを実施。初めて宿泊をする子どもたちや、久しぶりの宿泊にワクワクしている子どもたちなど、それぞれが協力して1年間のまとめとなるキャンプでした。

9月、秋の訪れを感じる阿蘇でリフレッシュしてもらおうと、阿蘇キャンプで成人を対象にヨガキャンプを開催。14名が参加しました。

新型コロナウイルス感染症対策

Anti-COVID-19 Measures

新型コロナウイルス感染拡大を受け、日本のYMCAでは、「#はなれていてもつながっている」をキーワードに、集団行動を控え、適切な距離を保つことなどを呼びかけ、「安全のために物理的には離れていても、いつでもつながっていよう」と訴えました。

熊本YMCAでは、4月27日（月）から、医療従事者や共働き家庭、ひとり親家庭の保護者と子どもたちを支援する目的で子どもの居場所支援プログラム「学童保育ユナイト」を展開。子どもたちの学習サポートやレクリエーションなどを行いました。YMCA学院の学生もボランティアとして活躍し、様々な

#はなれていてもつながっている

人たちの協力を得て、実施することができました。

コロナ禍によるストレスを抱える子どもたちのためにリフレッシュデイキャンプを実施したほか、文部科学省「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」を全国のYMCAが共同して取り組んだ“YMCA自然が子どもを元気にするプロジェクト”の一環として、10月25日（日）と2021年3月21日（日）に「大自然満喫デイキャンプ」を開催。10月は秋晴れの中、19名の子どもたちが阿蘇キャンプに集い、薪割り・“木いホルダー”作り・焼き板製作のアクティビティをメインに活動しました。初めて出会った子どもたち同士

が、時間が経つにつれて仲良くなり、協力しながら自然とグループの中での役割を果たすシーンが見られるなど、成長を感じることができました。



事業報告 Business Report

公益財団法人

グローバル教育事業

Global Education

9月27日(日)、リフレスおおむたで「こどもえいごデイキャンプ」を行い、年長から小学6年生の30名が参加しました。子どもたちはボルダリング、ウォータースライダー、タグゲーム(鬼ごっこ)に挑戦。コロナ禍でストレスを感じている子どもも多い中、参加者たちの無邪気に楽しむ笑顔をたくさん見ることができました。



幼稚園・保育事業

Childcare

10月29日(木)、みなみセンターのぶどうの木幼稚園ではハロウィンパーティーを開催。お気に入りのコスチュームに身を包み、園の近隣道路をパレードしました。



2歳児が通う中央センター体育英語幼稚園は2021年3月15日(月)に卒園式を開催。入園当初、涙していた子どもたちも1年間で成長した姿を見せてくれました。次年度からは熊本五福幼稚園に会場を移し、体育幼稚園として開園します。

指定管理事業

Designated Management

ユーパレス弁天 4月より、熊本YMCAが代表を務める「ユーパレス弁天共同企業体」が指定管理者となり、合志市にある総合健康センター「ユーパレス弁天」の運営を開始しました。天然温泉やプール、トレーニングジム等を有する県内最大級の温泉レジャー施設です。地域の皆さんが集い、交わる、新たなコミュニティづくりの拠点となることを目指します。

益城町総合運動公園 熊本地震の発生後、県内最大規模の避難所となり、再建が進められていた益城町総合体育館が完成。7月から利用が開始されました。8月1日(土)には、体育館オープンを記念して、「ファミリーでスポーツ&レクリエーション」を開催しました。元エアロビクニック日本代表の大村詠一さんの指導のもと、親子で楽しい時間を過ごしました。

御船町スポーツセンター 御船町福祉課と連携して中高年齢者のためのフレイル対策プログラムを10月から11月に全4

回シリーズで実施しました。また、男性のみを対象にした「メンズヨガ」を開催するなど、感染症対策をしながら、地域住民の幅広い年齢層に対して交流の場と健康支援の場を創造することができました。

リフレスおおむた コロナ禍により、様々な活動が制限される中で12月6日(日)に実施した親子クリスマスリース作りで7組の家族が参加。また、子どもたちが野外活動を行う、がまだす隊となんでもやる隊は、回数を減らしながらも実施することができました。

桃田運動公園 10月から4か月間、体育館のLED照明、空調設備の修繕工事が行われ、省エネで快適な環境が完備されました。健康プログラムとトレーニングジムは工事と新型コロナウイルスの影響を受けましたが、園内散歩やジョギングは、大河ドラマ「いだてん」の効果もあり人気です。



ユーパレス弁天



益城町総合体育館

事業報告 Business Report

学校法人

専門学校

Vocational School

全国緊急事態宣言を受けて、4月9日(木)～5月29日(金)まで休校措置がとられました。その間、学びの機会を保障するため、いち早くオンライン授業に取り組みました。

2021年1月30日(土)、中国・ベトナム・ネパール・フィリピン出身の留学生も多数在籍するビジネス総合学科ホテルコースの2年生が中心となり、宇城市小川町の国登録有形文化財「風の館塩屋」の町屋づくりのお座敷で、模擬人前挙式を行いました。地元の協力も得て、伝統芸能姿のやっこ隊の先導で嫁入り行列を行い、商店街を練り歩きました。式ではネ

パールダンスの披露もあり、参列者には日本の伝統文化と異文化のコラボレーションを楽しんでもらうことができました。

同月、児童福祉教育科は「糸(いと)～繋ぎ、繋がる22期生の糸～」をテーマに掲げ、卒業発表会を開催しました。コロナ禍のため、YouTubeによる配信に初チャレンジ。創作劇や合唱、ダンス、ソーラン節、太鼓の演目を、自分たちらしさを伝えるために熱演しました。試行錯誤の中、新たな発表の形を実現できました。



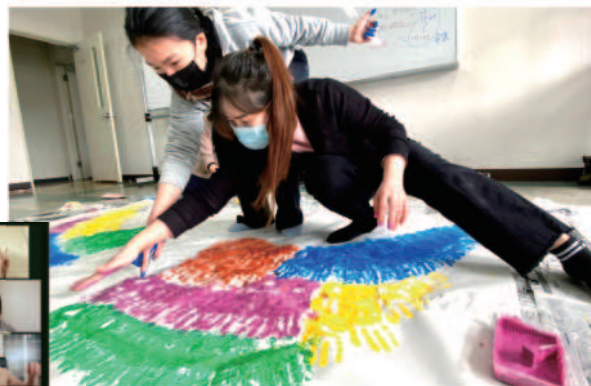
模擬人前挙式

日本語学校

Japanese Language School

新型コロナウイルスの影響により、春期は初の試みとなるオンライン授業でのスタートとなりました。新入生も入国できないため、ベトナム、フィリピンなどの母国から授業に参加。新しいクラスの形ができました。秋期は、予定よりも2カ月遅れでベトナム、中国から10名ほどの新入生が来日できました。

2021年2月19日(金)、手のひらアートを実施しました。アマビエ、くまモンを描いたクラスもありました。制限のある中でも、楽しい思い出ができました。



幼稚園

Kindergarten

2021年2月17日(水)、熊本五福幼稚園の年長組は、五福小学校1年生とオンライン交流会を開催。事前に「1年生に聞きたいこと」として質問を書いた手紙を渡し、当日は友だちの作り方や勉強、宿題、給食のことなどに答えてくれました。交流を通して、1年生になる期待が膨らみました。



2021年2月20日(土)、水前寺幼稚園は発表会「春を待つ、よい子の集い」を開催しました。今回は学年ごとに実施し、合唱は事前に録画したものを披露しました。

2021年2月20日(土)、水前寺幼稚園は発表会「春を待つ、よい子の集い」を開催しました。今回は学年ごとに実施し、合唱は事前に録画したものを披露しました。

事業報告 Business Report

学校法人

通信制

Correspondence

社会福祉学科と精神保健福祉学科は、仕事と両立しながら資格取得を目指す社会人のための講座を実施しています。2020年度修了生の国家試験の合格率は、社会福祉士が50.0%（全国平均29.3%）、精神保健福祉士が96.7%（全国平均64.2%）と、例年高い水準を誇っています。

スクーリングや修了式でオンラインを活用したことにより、鹿児島県の種子島や長崎県平戸市など、遠方の方でも受講可能な環境を提供することができました。

放課後等デイサービス

After School Daycare

放課後等デイサービス「YMCA自由なイルカたち」の2020年度登録者は、19名でした。

新型コロナウイルスの影響による長期の休校期間中も、受入れは継続。地域の行事が相次いで中止となったため、学生リーダーと夏祭りを企画しました。笑顔あふれる一日を過ごすことができました。



社会福祉法人

就労支援センター

Job Assistance Center

2012年4月に開所した就労支援センターは9年目を迎えました。中央センターの食堂と清掃の仕事を通じて、障がいのある人の自立に向けた取り組みを続けています。新型コロナウイルスの影響が小さくない1年でしたが2020年度は平均18名の利用者とともに働く機会が与えられ、利用者数を徐々に増やしています。

12月13日（日）には、東部センターで精神保健福祉学科通信制のスクーリングにゲストスピーカーとして利用者3名が参加しました。受講生からは、「実際に障がいのある人の話を聞くことができ、とても有意義だった」などの感想が聞かれました。



保育園

Nursery School

11月2日（月）は保育園ボランティア活動の日として、阿蘇市で運営する4つの保育園がそれぞれ地域での清掃活動を行いました。

熊本地震以降、防災・減災対策として保育園周辺の森を整備し、間伐や道の整備を行ってきた尾ヶ石保育園に、ツリーハウスが完成しました。ツリーハウスからは保育園周辺全体や土砂災害警戒区域となっている保育園西側の谷も見る事ができます。2021年3月13日（土）には完成を記念して年長児8名と保護者でワークショップを開催。親子で巣箱を製作し、卒園記念の植樹を行いました。

活動報告 Activity Report | Community Services

地域活動・ボランティア活動

令和2年7月熊本豪雨支援

Support for the 2020 Kumamoto Floods

多良木避難所運営

8月22日(土)から10月末まで、熊本YMCAはピースポート災害支援センターとともに、球磨村の村外避難所となった旧多良木高校の避難所を2カ月半にわたり運営しました。全国のYMCAや協力団体からも多くの支援スタッフが入り、住民の皆さんに寄り添った様々な活動を行いました。避難所内を大人が大多数占める中、9月下旬には子どもたちの居場所づくりのためにキッズ担当者を配置。子どもたちがのびのびと遊ぶことで、住民の皆さんの笑顔も増えました。

10月4日(日)と11日(日)にはAmazonとYMCA、Life is Tech!が協力して行うプログラミング教室を避難所で開催。子どもたちがWebサイト作成に挑戦しました。この教室は避難所だけでなく、中央センターやみなみセンターなどでも地域の子どもたちを対象に実施しました。

災害ボランティアの派遣

コロナ禍で県外からのボランティア参加が制限される中、8月から、YMCA学院の学生、日本語学校の留学生、会員、職員らが現地のボランティアに参加。これまでにYMCAに関わりのなかった市民の参加もあり、活動の広がりが見られました。がれきの撤去、家具家財の仕分け、泥のかきだし作業など、ボランティアを必要とする作業は多岐に渡り、2021年度も引き続き派遣を続けています。

2021年1月から2月にかけて、YMCA学院の学生とスタッフのべ37名が人吉で農地復旧ボランティアに参加しました。被災後、がれきが流れ込み手つかずだった農地も、翌日には農作業に取り掛かることができるまで整いました。過疎化する人吉の農地に若者の声が響き、地域の皆さんにも喜んでもらえました。

熊本地震支援

Support for the 2016 Kumamoto Earthquake

御船町はこの3月ですべての仮設団地が撤去され、居住者全員が自宅再建や災害公営住宅に移るなどして新たな生活をスタートすることができました。この大きな節目を支援者と住民が共に祝い、今後の復興に向けて進んで行くことを目的に2021年3月14日(日)、「御船町復興住民交流会」を開催。200名近くが集まりました。

2016年10月の地域支え合いセンター開設以来、熊本YMCAは益城町の社会福祉協議会から委託を受け、木山仮設団地で暮らす方々の見守り支援等を行ってきました。2021年3月末をもって業務委託を終了することに伴い、3月27日(土)には住民の皆さんとのフェアウェル交流会を開催。交流の時を持ちました。

その他、日本語学校の留学生を農業ボランティアに派遣するなど、被災地支援を継続しています。



多良木避難所



Amazonプログラミング教室



災害ボランティア派遣



御船町復興住民交流会

活動報告 Activity Report | Community Services

地域活動・ボランティア活動



インターナショナル・チャリティーラン

International Charity Run

第5回となる熊本大会は、11月21日(土)～29日(日)の期間で、SNSを活用したリモート大会となりました。YMCAマスクを身につけた参加者が、「#熊本YMCAラン #つながってマスク」のハッシュタグを添えてSNSに動画や写真を投稿。委員会やワイズメンズクラブ、学院生、留学生、園児など多数の参加がありました。益金はYMCAの障がい児支援プログラムのために活用されます。

子育て広場

Child-rearing Support

「子育て広場わいわい」は、熊本市子どもの未来応援基金の助成を受けて開催しています。コロナ禍だからこそ、親子でリフレッシュできる機会を提供したいと、感染症対策を講じながら12月に3回にわたり開催。外国人講師による英語あそびや、YMCA学院で保育を学ぶ学生による絵本の読み聞かせ、リズムあそび、クリスマス製作など盛りだくさんの内容になりました。



企業協働の社会貢献活動

Philanthropy

YMCAフィランソロピー協会は子どもたちや外国人留学生の職業観を養うことを目的に「おしごとカフェ」を開催しました。8月は児童養護施設の子どもたち、1月はYMCA学院グローバルコミュニケーション科の留学生を対象に日本の仕事について学ぶ機会を持ちました。参加した学生は真剣な表情で聞き入り、「日本の会社で働くために日本語は絶対に必要だが、必要な資格を取ること大切だと思った」と感想を述べました。



ピンクシャツデー

Pink Shirt Day

YMCAはいじめのない世界を目指すピンクシャツデーに取り組んでいます。今年はハートがモチーフのマスクシールをYMCAに通う皆さんに配布。全国YMCAのアフタースクールがオンライン交流でピンクシャツデーの取組みを発表したほか、玉名市の玉陵中学校も生徒会が中心となって取り組むなど、多くの人といじめや差別について考える時間を持ちました。



Amazon「みんなで応援」プログラム

Amazon Charity Program

Amazonによるチャリティーキャンペーン「みんなで応援プログラム」を展開しました。趣旨に賛同してAmazonのサイトで公開された「ほしい物リスト」から商品を購入すると、応援物資がYMCAに届きます。子どもたちの運動能力向上のためのケンケンパリングや困窮する留学生のためのレトルト食品など、多くの応援物資が届けられました。



活動報告 Activity Report | Global Exchange and Cooperation

国際交流・国際協力



平和学習会「ベアトリスに聞いてみよう！」

Peace Study

非政府組織ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）の事務局長ベアトリス・フィンさんがいるジュネーブと日本をリモートでつないだ平和学習会「ベアトリスに聞いてみよう！」が8月4日（火）に行われました。全国のYMCAからユースやスタッフなど約60名、熊本YMCAからも熊本大学YMCA花陵会の3名が参加しました。ユースによる平和活動の報告の後、ベアトリスさんから「核兵器廃絶に向けてYMCAユースに望むこと」をテーマに、力強いメッセージが伝えられました。

質疑応答では、熊本のユースが今後の具体的な核廃絶活動計画について質問すると、ベアトリスさんがわかりやすく答えてくれました。ICANは2017年にノーベル平和賞を受賞。熊本の参加者は「活動の内容を知り感動しました。本当に貴重な機会を与えられて感謝しています」と話しました。

熊本・台湾高雄YMCAシニア中秋交流会

Kumamoto - Takao YMCA Senior Exchange in Online

コロナ禍で日本に旅行や留学をしたくてもできない状況の中、台湾・高雄のシニアの人たちに、熊本への関心・興味を持ってもらおうと、9月25日（金）、日本文化を紹介するリモート交流会を実施しました。

台湾の高雄YMCAからシニアが25名、熊本YMCAからは高齢者を対象とした「マッする体操」の参加者13名が参加しました。初めに双方の職員がそれぞれの中秋の過ごし方を説明。台湾の中秋は、月餅や文旦を食べて皮を頭にかぶる習慣があり、最近では中秋に焼肉を食べることが流行と聞いた熊本の参加者は驚いた様子でした。その後、熊本から転倒予防歩行運動、高雄からはノリのいい「ダレデモダンス」を披露。交流会では、熊本の参加者の一人が、直接中国語で話をする場面もあり、大いに盛り上がりました。



熊本YMCAは
転倒予防歩行運動を披露



ミャンマー・モガウンYMCAが
運営するエイズ孤児院
(2020年2月撮影)

第8回日中韓平和フォーラム

CJK Peace Forum

2021年3月6日（土）、オンラインで開催された第8回日中韓YMCA平和フォーラムに熊本YMCAのユースリーダーが参加しました。参加者が90名を超えた本フォーラム。1部は各国代表者がプレゼンテーションを行い、各国のコロナ禍における対策や支援内容について発表が行われました。2部ではシニア・ユースそれぞれがグループに分かれてディスカッション。参加したユースからは「平和をテーマに“つながる”ことが大きな一歩となり、“よくなっていく”準備ができたと感じました」と感想が寄せられました。



ミャンマー緊急支援

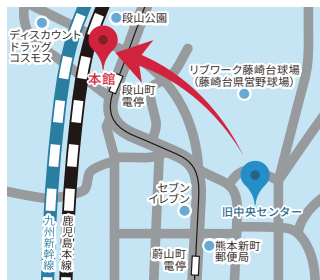
Emergency Support for Myanmar

2021年2月1日（月）、ミャンマーで国軍によるクーデターが発生しました。これに抗議する多くの市民デモに対し治安部隊が発砲し、死傷者や拘束される人が増大。ミャンマーYMCAでも民主化の発言をした関係者や選挙に関わっていたスタッフが拘束されるなど緊張感が高まっています。熊本YMCAは以前からミャンマーのモガウンYMCAを通して、エイズ孤児の支援に取り組むなど、交流を続けてきました。今回の状況を受けミャンマー市民のいのちと安全を守るための緊急支援募金に取り組んでいます。

学び・交流の拠点新たに 熊本YMCA本館開館に向けて



2021年春の開館に向け、熊本YMCA本館が2020年6月に着工しました。本館は、建物の構造を強化。井戸、マンホールトイレ、かまどスツール、防災収納ベンチ、太陽光パネル、自家発電設備を備え、災害時には一次的な避難場所としての活用も想定。専門学校やランゲージスクールなどを中心としたグローバルな人材育成に取り組むほか、子育て世代のサポート、シニア層の健康増進などのプログラムも企画します。



〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1

熊本YMCA中央センター・東部センター感謝会

本館への移転に伴い、会員、ボランティア、地域の皆さんへ感謝の気持ちを伝え、これまでの歴史を継承して新たな地へと向かうため、中央センター、東部センターの感謝会を開催しました。

2021年1月23日(土)に開催した東部センター感謝会では、礼拝に続き、スライドショーなどで歴史を振り返った後、熊本YMCA学院建築科、日本語科、通信制の在籍生や卒業生がそれぞれスピーチを行いました。社会福祉学科の在籍生は「入校間もなく病に襲われたものの、先生や仲間の温かい支えにより学習が続けられている。YMCAで見つけた絆、仲間や先生方とのつながりによって、夢に向かって走り続けていくことがいつでもできる。自分にとってYMCAはそんな場所です」と述べました。

2021年2月20日(土)には中央センターの感謝会を行い、YMCA社交ダンスクラブ、ボランティアグループ青い芽、野外活動クラブ(インディアンズクラブ)の活動を報告。長年にわたり、福祉活動、青少年の育成などに取り組んできた歴史を確認しました。また熊本ワイズメンズクラブ会長や中央運営委員会からの期待と励ましの言葉のほか、一新校区7町内自治会長の大橋道雄さんからは、「これまで自治会の活動に様々な提案をいただいたことに感謝します」とメッセージが送られました。



募金活動 Fundraising

ひとりがよくなると、社会や世界はきっと変わる。

The chain of transformations of individuals will be the power to transform society and the world.

YMCA年末募金

Fund Development Campaign

YMCAでは平和を築き、次代を担う子どもたちや若者の成長を育むため、募金活動に取り組んでいます。



上通ひぶれず広場前で実施した街頭募金

毎年県内各所で実施している街頭募金活動も、今年会場を1カ所に絞り、YMCAの幼稚園、幼児園の園児の協力で事前に撮影した動画を街頭で流しながら実施。コロナ禍で例年どおりの活動が難しい中、各拠点でも工夫を凝らした取り組みを行いました。様々な活動に皆様の募金が役立っています。

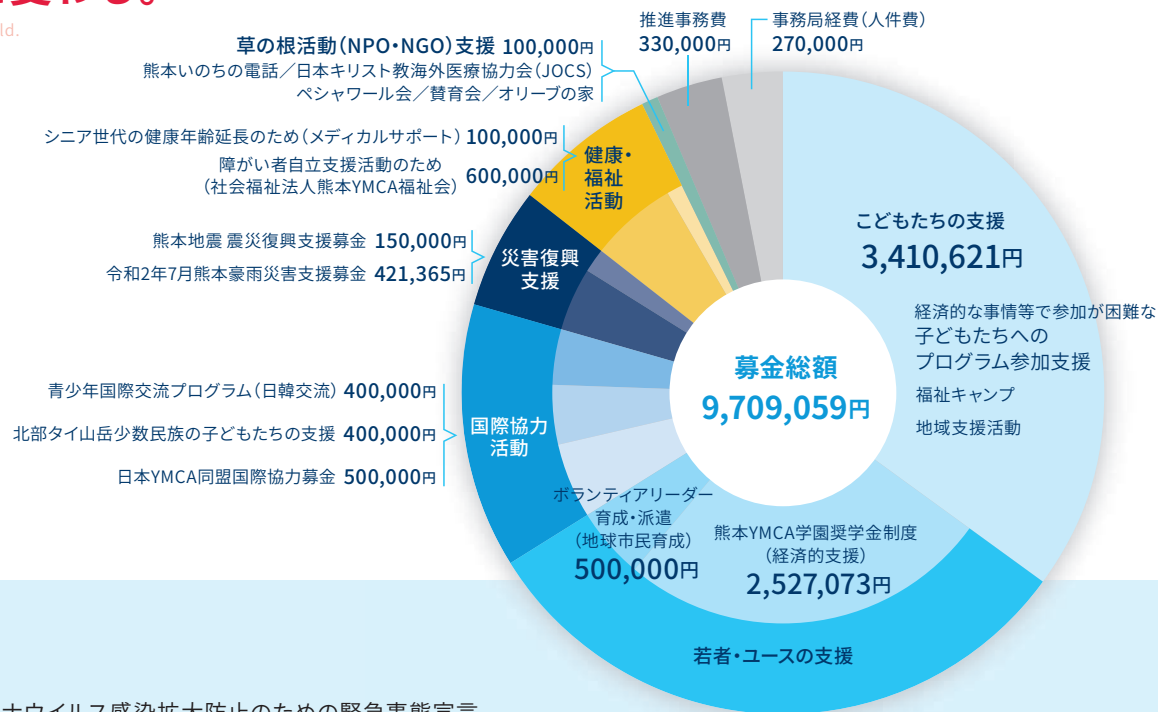
YMCAポジティブネット募金

YMCA学院に通う留学生の多くは、コロナ禍によりアルバイトが減少。困る学生を支援しようと、6月8日(月)から「留学生支援緊急募金」に取り組み、約80万円の支援金が集まりました。7月17日(金)、募金をもとに一人につきお米5kgと4000円分のクオカードの贈呈式を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言等を受けて実施した子どもの居場所支援プログラム「学童保育ユナイト」の運営のための募金活動にも取り組み、126,000円の支援金が集まりました。



球磨村教育委員会へ支援金を贈呈



令和2年7月熊本豪雨募金

7月、九州を中心に甚大な被害をもたらした豪雨を受け、募金活動を開始しました。熊本YMCAが行う被災地へのボランティア派遣やコミュニティの復興を目指す活動、子どもたちの支援に用いるほか、一部は球磨村、球磨村教育委員会、球磨地域振興局に支援金として贈呈しました。

助成実績 Grant-in-aid Amount

参加費減免(通年)

事業部門	件数	助成額(円)
ウエルネス	29	884,439
野外教育	3	44,250
グローバル教育	2	107,702
YMCA学院	17	3,000,000
合計	51	4,036,391

参加費減免(シーズン)

事業部門	件数	助成額(円)
ウエルネス	1	7,900
野外教育	2	25,180
合計	3	33,080



7月31日(金)に益城町津森小で行った着衣泳教室に指導者を派遣

地球市民育成(ランゲージスクール学生受講料免除)

事業部門	件数	助成額(円)
グローバル教育	14	638,055
合計	14	638,055

地球市民育成 助成

プログラム	件数	助成額(円)
第51回全国YMCAリーダー研修会(オンライン)	1	33,180
合計	1	33,180

シニア世代の健康増進 メディカルサポート

事業部門	件数	助成額(円)
ウエルネス	9	158,400
合計	9	158,400

【助成総計】

事業部門	件数	助成額(円)
ウエルネス	39	1,050,739
野外教育	5	69,430
グローバル教育	16	745,757
YMCA学院	17	3,000,000
地球市民育成助成	1	33,180
総計	78	4,899,106



Voice

参加者減免制度利用者の声

YMCA学院 健康スポーツ科2年
(取材当時)
元YMCA HIP-HOP教室参加者

星子 直輝さん

幼い頃にYMCAでダンスに出会い、高校ではダンスコースに所属していました。スポーツトレーナーを仕事として意識するようになったのは高校3年の時。YMCA学院健康スポーツ科では実習やキャンプなど、学校以外でも充実した活動に取り組みました。

好きなこと、熱中できることがあっても、断念せざるを得ないのは残念です。私はひとり親家庭で育ちましたが、募金によって夢をあきらめずに続けてこれました。卒業後は社会人として、脳梗塞などの後遺症で体が自由に動かせなくなった人のためのリハビリ施設で運動トレーニングに携わります。「孫と出かけたたい」、「散歩を長く楽しみたい」という人たちを支えられるようにYMCAで学んだことを役立てたいと思っています。

YMCAについて About YMCA

YMCAとは

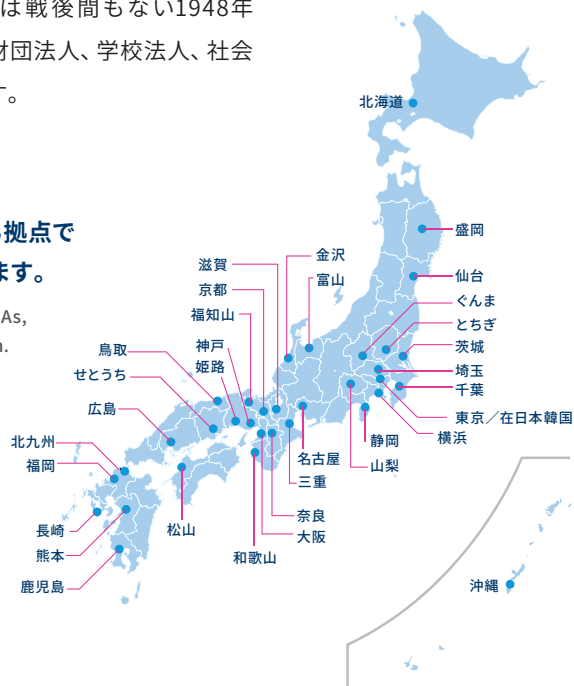
YMCAとは、Young Men's Christian Associationの略称で、キリスト教を基盤とする非営利公益団体です。世界120の国と地域で、およそ6500万人がYMCAの活動に関わり、日本国内では「みつかる。つながる。よくなっていく。」をスローガンに、地域や人々のニーズに合わせた多様なプログラムを提供しています。

YMCAは1844年、産業革命下のイギリス・ロンドンで、同世代の仲間たちの人格的成長や生活改善を願うジョージ・ウィリアムズ（1821～1905）と10人の青年たちによって組織されました。

日本最初のYMCAは1880年（明治13年）、東京で創設。現在では沖縄から北海道まで、約14万人の会員とともに活動しています。熊本YMCAは戦後間もない1948年（昭和23年）に誕生し、公益財団法人、学校法人、社会福祉法人を軸に運営しています。

**日本のYMCAは、
全国35都市、200を超える拠点で
14万人が活動を行っています。**

About 140,000 Members, 35 YMCAs,
more than 200 Facilities in Japan.



YMCAの活動領域



子どもの成長に寄り添う 子育てと子育て

1

保育やアフタースクール、ウェルネスや語学教育といった体験や出会いの場と機会を通して子どもたちの成長に寄り添っています。



若者の力を信じる ユースエンパワーメント

2

幅広い分野の学校や学習の場、ボランティア活動を通して、若者の人間力を育み、その成長を力強く支援しています。



健やかな生活を支える 生活クオリティの向上

3

健康寿命の延伸や知的好奇心の追求を共にし、社会とつながる機会を提供することで人々のいきいきとした健やかな生活を支えます。



社会貢献の地域基盤となる 社会に貢献

4

災害支援やいじめ防止アクション、チャリティー活動など、日本と世界に広がるネットワークを活かして社会貢献の輪を広げています。

概況・統計 Statistics and Association Overview

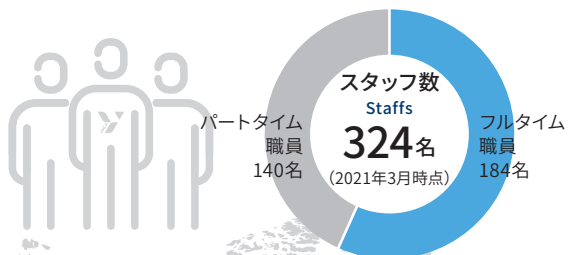
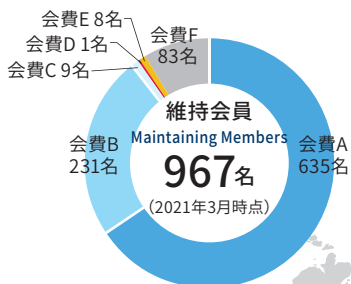
創立 Founding

熊本YMCA 73年 (1948-2021年)
 日本YMCA 141年 (1880-2021年)
 世界YMCA 177年 (1844-2021年)

拠点数 Centers 16拠点 (2021年5月時点)

プログラム参加者 Members 6,820名 (2021年3月時点)

公益財団法人…………… 5,941名
 学校法人…………… 637名
 社会福祉法人…………… 242名



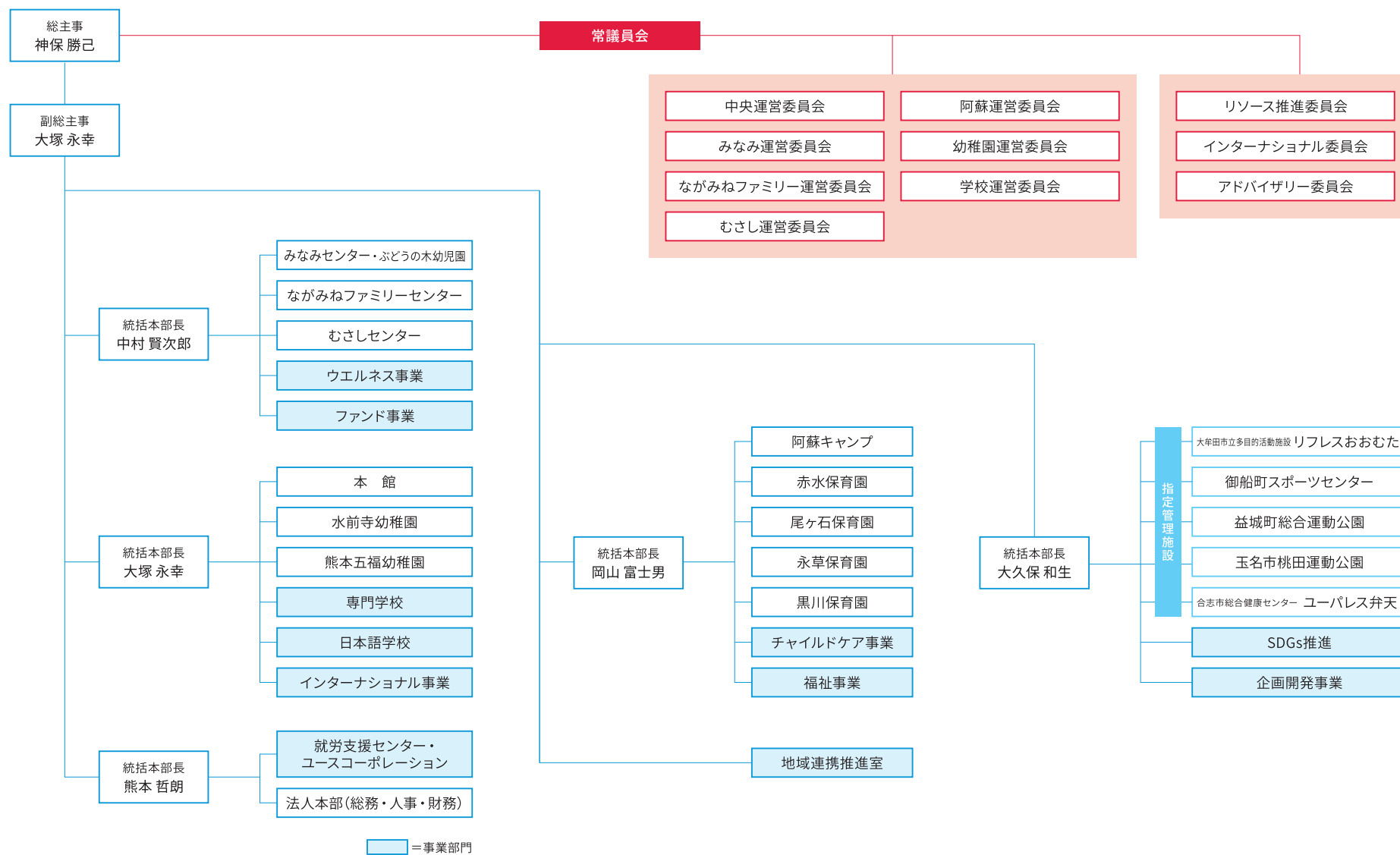
加盟 Affiliated
 日本YMCA同盟(東京)
 アジア・太平洋YMCA同盟(香港)
 世界YMCA同盟(ジュネーブ)

ワイズメンズクラブ Y's Men's Clubs 2021年3月時点

- 熊本ワイズメンズクラブ…………… 23名
- 熊本ジェーンズワイズメンズクラブ…………… 36名
- 八代ワイズメンズクラブ…………… 8名
- 熊本むさしワイズメンズクラブ…………… 19名
- 熊本みなみワイズメンズクラブ…………… 24名
- 熊本ひがしワイズメンズクラブ…………… 15名
- 宮崎ワイズメンズクラブ…………… 8名
- 阿蘇ワイズメンズクラブ…………… 20名
- 熊本にしワイズメンズクラブ…………… 14名
- 熊本ネクススワイズメンズクラブ…………… 8名
- 熊本スピリットワイズメンズクラブ…………… 8名
- 熊本水前寺ワイズメンズクラブ…………… 16名
- 熊本五福ワイズメンズクラブ…………… 16名

部門\拠点	中央	みなみ	東部	ながみねファミリー	むさし	水前寺幼稚園	熊本五福幼稚園	社会福祉法人	合計
ウエルネス	成人健康	—	521	—	142	433	—	—	1,096
	こども健康	147	1,344	—	1,270	1,067	—	—	3,828
	野外	30	—	—	—	—	—	—	30
グローバル教育	成人語学	123	15	—	—	18	—	—	156
	こどもえいご	85	257	—	171	173	—	—	686
専門学校(全日制)	167	—	80	—	—	—	—	—	247
専門学校(通信制)	—	—	107	—	—	—	—	—	107
日本語学校	2	—	65	—	—	—	—	—	67
アフタースクール	—	6	—	28	10	—	—	—	44
発達障がい支援	—	13	—	7	—	—	—	—	20
放課後等デイサービス	19	—	—	—	—	—	—	—	19
幼稚園	—	—	—	—	—	126	71	—	197
幼児園	—	81	—	—	—	—	—	—	81
保育園	—	—	—	—	—	—	—	242	242
合計	573	2,237	252	1,618	1,701	126	71	242	6,820

2021年度組織 Organizational Structure



熊本YMCA役員・委員報告 Board and Committee Members

任 期：2020年6月～2021年5月

◎委員長 ○副委員長 ◇担当職員

公益財団法人 熊本YMCA

理事長 神保 勝己
理事 中村賢次郎 西 章男 日野 充裕 平山 俊生
 守田 富男 吉本貞一郎
監事 藤田 香織 森 博之
評議員 麻生 尚哉 岩永 福子 立野 泰博 長澤 牧人 林田 博文
 本田 節子 三上 充 森嶋 道 両角 彰則 吉岡 久美

学校法人 熊本YMCA学園

理事長 神保 勝己
理事 井上 和美 前田香代子 吉岡 久美 吉村 千恵 吉本貞一郎
監事 守田 富男 吉松 裕藏
評議員 神保 勝己 上村 文美 加藤 泰文 熊本 哲朗 佐藤 通彦
 土山 真也 林田 博文 福山 裕敏 前田香代子 宮本 昌宣
 吉岡 久美 吉村 千恵 吉本貞一郎

社会福祉法人 熊本YMCA福祉会

理事長 神保 勝己
理事 内村 優 岡山富士男 久保 誠治 高橋 壘
 藤崎 三郎 二子石真弓
監事 桑本 ゆき 藤本猪智郎
評議員 川上 安生 木村 仁美 五嶋 義行 林田 絹子
 武藤 興紀 山口 貴生 山本 章夫 山本 直樹

熊本YMCA常議員

麻生 尚哉 岩永 福子 佐藤 通彦 立野 泰博 長澤 牧人 西 章男
 林田 博文 平山 俊生 藤田 香織 本田 節子 前田香代子 三上 充
 森 博之 森嶋 道 守田 富男 両角 彰則 吉岡 久美 吉松 裕藏
 吉村 千恵 吉本貞一郎 神保 勝己

中央運営委員会 ◎林田 博文 ○生駒 春美 岡田 茂美 小山 徹 木山 彰子 金澤 知徳
 下舞 睦哉 西 章男 福田 稠 北條 将人 中尾 桂子 村田紀美子
 (守田 富男) 和田 修一 ◇山田 真二

みなみ運営委員会 ◎森 博之 ○麻生 尚哉 ○岩永 福子 岩本 守弘 岩瀬 英次 内村 忠生
 高山 與子 後藤 慶次 杉野 茂人 時任幸四郎 中川 洋一 中村 邦雄
 中村 陽志 藤元 俊輔 村上 博 米倉 容子 ◇木村 成寿

東部運営委員会 ◎三上 充 ○角本 浩 赤星文比古 秋成 洋 加藤 國博 金 聖孝
 紫垣 正仁 那須 久史 西田 晶子 広瀬美貴子 本堀 秀一 横田 佳恵
 ◇尾道 一幸

ながみね運営委員会 ◎平山 俊生 ○田上 裕章 ○横田 博 石橋 綾 小川祐一郎 柏原 芳則
 門永 充弘 菅 正康 竹本 雄一 馬場 淑之 吉松 裕藏 ◇真西 優治

むさし運営委員会 ◎両角 彰則 入佐 孝三 桑原純一郎 最相 博子 高橋 良明 田北康一郎
 田上 正 林田 秀平 裴 東 烈 山部 裕輝 米村 謙一 来海 恵子
 ◇土山 真也

阿蘇運営委員会 ◎吉村 千恵 ○篠崎 泰子 内村 優 梅井 俊夫 五嶋 義行 竹原 憲朗
 藤本猪智郎 藤本 義隆 松岡 省吾 武藤 興紀 ◇本田奈緒子

水前寺運営委員会 ◎本田 節子 伊藤 七海 白木 尚登 本田 光夫 山内 恵美 山下 知美
 ◇福山 裕敏

熊本五福運営委員会 ◎佐藤 通彦 ○岩本 悟 岩本 芳久 上野美恵子 長澤 牧人 東 菜保子
 水元 裕二 ◇井上 和美

ウエルネス事業委員会 ◎守田 富男 有吉 亮 岡崎 源次 木佐貴浩一 俵 哲 橋本 公雄
 ◇土山 真也

グローバル事業委員会 ◎前田香代子 木下慎太郎 坂本 美穂 立野 泰博 藤井 資子 棟方 信彦
 (吉本貞一郎) ◇大宅登貴子 (中村賢次郎)

学校事業委員会 ◎吉岡 久美 ○上村真智子 荒木由起子 岩切 和子 江口 清一 亀浦 正行
 広渡 純子 守田 義彦 ◇加藤 泰文 (神保 勝己)

リソース推進委員会 ◎吉本貞一郎 秋根 年子 今村 秀夫 大崎 隆義 田中 俊夫 藤田 香織
 森嶋 道 山田 芳之 ◇神保 勝己



みつかる。つながる。よくなっていく。